
INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2009年第13週
(3月23日～3月29日)

- * 2009年4月1日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * 今週は感染症豆知識「麻しん」も掲載しています。
- * オセルタミビル(タミフル)耐性ウイルス株の検出状況を
15頁に掲載しています。

平成21(2009)年4月2日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)

FAX：03-5332-7365

e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数 2009年13週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				年累計	全国(診断週)	
		10週	11週	12週	13週		13週	年累計
一 類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二 類	急性灰白髄炎							
	結核	82	70	51	68	858	285	5521
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *							
	鳥インフルエンザ (H5N1) **							
三 類	コレラ							2
	細菌性赤痢	2				10	2	44
	腸管出血性大腸菌感染症		1	3		11	16	193
	腸チフス	1	2			4		6
	パラチフス	1		1		2		3
四 類	E型肝炎					3	1	11
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	1				3	1	23
	エキノкокクス症					1		7
	黄熱							
	オウム病							1
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症					1		1
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	つつが虫病					2		35
	デング熱	1				5		18
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ (H5N1を除く)							
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱							4
	日本脳炎							
	発しんチフス							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	ボツリヌス症							
マラリア		1			8	1	16	
野兎病								
ライム病								
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽								
レジオネラ症	1	1			15	10	147	
レプトスピラ症							1	
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		10週	11週	12週	13週	年累計	13週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	3	2	2	3	35	10	215
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)	1	1		2	13	1	44
	急性脳炎 ***	1		1		8	1	65
	クリプトスポリジウム症						1	2
	クロイツフェルト・ヤコブ病					3	2	25
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					3	3	29
	後天性免疫不全症候群	16	6	10	8	127	9	338
	ジアルジア症	2	1			10		15
	髄膜炎菌性髄膜炎							4
	先天性風しん症候群							
	梅毒	6	6	6	3	53	9	174
	破傷風					1		13
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					1	1	22
	風しん		1			2	1	45
麻しん	1	2	2	2	26	7	189	
2009/4/1集計								

* 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

** 2008年5月12日から指定された。

*** ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

(全数把握対象疾患のコメント)

〈二類感染症〉

結核 68件 肺結核43件、その他の結核11件、肺結核及びその他の結核3件、無症状病原体保有者10件、疑似症1件で、推定感染地は国内64件、北朝鮮、米国、フィリピン各1件、国外(不明)1件。年齢は、5歳未満1件、10歳代2件、20歳代9件、30歳代12件、40歳代7件、50歳代9件、60歳代12件、70歳代9件、80歳代5件、90歳代2件であった。

〈三類感染症〉

三類感染症の届出はなかった。

〈四類感染症〉

四類感染症の届出はなかった。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 3件 すべて腸管アメーバ症で、推定感染地はすべて国内、推定感染経路は性的接触2件(同性間1件、性別不明1件)、その他1件であった。

ウイルス性肝炎 2件 B型1件、C型1件で、推定感染地はすべて国内、推定感染経路は同性間性的接触1件、針刺し事故1件であった。

後天性免疫不全症候群 8件 無症候キャリア3件、AIDS 2件、その他3件であった。無症候キャリアおよびその他の年齢は、20歳代1件、30歳代3件、40歳代1件、50歳代1件で、AIDS患者の年齢は、50歳代1件、70歳代1件であった。推定感染地はすべて国内で、推定感染経路は性的接触7件(同性間6件、異性間1件)、不明1件であった。

梅毒 3件 早期顕症梅毒Ⅱ期1件、無症候2件で、推定感染地はすべて国内、推定感染経路はすべて性的接触(同性間2件、異性間1件)であった。

麻しん 2件 麻しん(検査診断例)2件で、年齢は20歳代1件、40歳代1件、麻しん含有ワクチン接種歴はともに不明であった。

定点把握対象疾患 報告数 2009年13週

定点種別	対象疾患	2009年					報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		10週	11週	12週	13週 (定点当たり)			
小児科	RSウイルス感染症	8	5	7	8	0.05	148	150
	咽頭結膜熱	27	32	24	30	0.20		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	372	348	319	247	1.67		
	感染性胃腸炎	1,102	1,083	972	828	5.59		
	水痘	181	208	176	174	1.18		
	手足口病	8	11	18	7	0.05		
	伝染性紅斑	20	26	39	34	0.23		
	突発性発しん	64	71	93	58	0.39		
	百日咳	2	5	2	4	0.03		
	ヘルパンギーナ	1	6	11	3	0.02		
	流行性耳下腺炎	73	89	77	114	0.77		
	不明発しん症(注1)	10	6	6	11	0.07		
MCLS(川崎病)(注1)	1	0	1	1	0.01			
インフルエンザ	インフルエンザ(注2)	3,328	4,119	3,946	2,496	8.73	286	290
眼科	急性出血性結膜炎	0	0	0	1	0.03	38	39
	流行性角結膜炎	10	10	11	18	0.47		
基幹	細菌性髄膜炎(注3)	1	0	0	0	0.00	23	24
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.00		
	マイコプラズマ肺炎	2	11	4	7	0.30		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	3	0	1	1	0.04		
2009/4/1集計								

(注1) 不明発しん症、MCLS(川崎病)は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

風しん、麻しん、成人麻しんは2008年第1週より全数把握対象疾患に変更。

(定点把握対象疾患のコメント)

- ・流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。昨年および過去5年平均と比較して高いレベルで推移している。
- ・インフルエンザの定点当たり報告数は、減少した。保健所管轄地域31か所中、警報レベルにある地域は2か所、注意報レベルにある地域は3か所であった。

(定点医療機関からのコメント)

みなと保健所管内定点医療機関

・感染性胃腸炎:26名中、ロタウイルス5名。

中野区保健所管内定点医療機関

・不明発疹症:11歳児、頸部リンパ節腫脹、疼痛で受診したところ、体幹部全体に紅斑状の発疹を認めた。発熱は無く、コプリック斑認めず。溶連菌も陰性。発疹は2日で消退したが、風疹の疑いもあり、抗体検査中です。予防接種は3歳時に接種済み。

多摩立川保健所管内定点医療機関

・溶血性レンサ球菌咽頭炎:72歳と46歳の2名。

* インフルエンザに関するコメントは13-14頁にまとめて記載しました。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2009年13週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～5か月	5			6	3					
～11か月	2	1		49	13	1	1	20		
1歳	1	2	8	113	29	4	1	30		
2歳		6	17	95	35		5	6		1
3歳		4	17	90	24		3			1
4歳		4	27	75	26		6			
5歳		2	34	55	18	1	1	2		1
6歳		2	36	58	10	1	9			
7歳		1	27	37	4		2			
8歳			17	40	4		3			
9歳			14	33	1					
10～14歳		5	30	75	3		3			
15～19歳			2	7						
20～29歳		3	18	95	4				4	
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	8	30	247	828	174	7	34	58	4	3
先週比	1	6	-72	-144	-2	-11	-5	-35	2	-8

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	不明発しん症	MCLS(川崎病)	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～5か月		2		2		
～11か月		3		9		
1歳	4	3	1	57		
2歳	9	1		76		
3歳	13	1		103		
4歳	11			152		
5歳	18			191		
6歳	22			253		
7歳	8			291		
8歳	9			250		
9歳	6			216		
10～14歳	12	1		515		
15～19歳	1			86		2
20～29歳	1			96		7
30～39歳				91	1	5
40～49歳				77		3
50～59歳				11		1
60～69歳				12		
70～79歳				6		
80歳以上				2		
合計	114	11	1	2496	1	18
先週比	37	5		-1450	1	7

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数

【年齢階級別】 2009年13週

	風しん	麻しん
0歳		
1歳		
2歳		
3歳		
4歳		
5歳		
6歳		
7歳		
8歳		
9歳		
10～14歳		
15～19歳		
20～29歳		1
30～39歳		
40～49歳		1
50～59歳		
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計		2

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2009年13週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田		2		4						
中央区			6	5	7		3			
みなと	1	2	2	48	6	1	1	2		
新宿区			9	17	6					
文京			4	6	2			1		
台東		2	4	20	8		1	3		
墨田区			2	18	3					
江東区	1		4	51	3		1	5		1
品川区		2	11	30	8			1		1
目黒区			3	6						
大田区		6	18	65	12	2	9	2	3	
世田谷			8	50	9		3	1		
渋谷区			1	16	1					
中野区		1	3	43	6					
杉並			5	48	11			1		
池袋			1	8	4			1		
北区			2	30	3		1	3		
荒川区		1	2	10	9			2		
板橋区			1	23	7	1		1		
練馬区			3	19	14		2	3		
足立		8	4	23	1	1		2		
葛飾区			9	11	8	1		3		
江戸川	1	3	40	18	2		2	1		
八王子市	1	1	36	44	13		3	2		
西多摩			2	13	2			2		
南多摩	4		7	23	6			4		
町田			41	65	10		7	3	1	1
多摩立川			1	19	2		1			
多摩府中			3	21	5	1		8		
多摩小平		2	15	72	4			7		
島しょ				2	2					
東京都合計	8	30	247	828	174	7	34	58	4	3

全数把握対象疾患
(風しん、麻しん)報告数

【保健所別】 2009年13週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田	1			14		
中央区				15		1
みなと	1	1		33		
新宿区	6			73		1
文京	1			55		1
台東	2			19		
墨田区	6			21		
江東区	5			64		2
品川区	1			83		
目黒区				22		
大田区	5			134		1
世田谷	2	1		148		
渋谷区	6			27		
中野区	3	2		76		1
杉並	4			98		
池袋				68		
北区				71		
荒川区		1		32		2
板橋区	2			59		
練馬区	3	1		173		
足立	2			94		3
葛飾区	2	1		66		
江戸川	10			80		
八王子市	21	2		239	1	3
西多摩	7			85		
南多摩	3		1	164		
町田	10	2		98		
多摩立川				73		
多摩府中	5			186		
多摩小平	6			121		3
島しょ				5		

東京都合計	114	11	1	2,496	1	18
-------	-----	----	---	-------	---	----

	風しん	麻しん
千代田		
中央区		
みなと		
新宿区		
文京		1
台東		
墨田区		
江東区		
品川区		
目黒区		
大田区		
世田谷		
渋谷区		
中野区		
杉並		
池袋		
北区		
荒川区		
板橋区		
練馬区		
足立		
葛飾区		
江戸川		
八王子市		
西多摩		
南多摩		1
町田		
多摩立川		
多摩府中		
多摩小平		
島しょ		

東京都合計		2
-------	--	---

定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2009年13週

定点種別	小児科									
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田		0.50		1.00						
中央区			2.00	1.67	2.33		1.00			
みなと	0.17	0.33	0.33	8.00	1.00	0.17	0.17	0.33		
新宿区			1.50	2.83	1.00					
文京			1.33	2.00	0.67			0.33		
台東		0.67	1.33	6.67	2.67		0.33	1.00		
墨田区			0.67	6.00	1.00					
江東区	0.25		1.00	12.75	0.75		0.25	1.25		0.25
品川区		0.33	1.83	5.00	1.33			0.17		0.17
目黒区			1.00	2.00						
大田区		0.75	2.25	8.13	1.50	0.25	1.13	0.25	0.38	
世田谷			1.00	6.25	1.13		0.38	0.13		
渋谷区			0.25	4.00	0.25					
中野区		0.17	0.50	7.17	1.00					
杉並			0.83	8.00	1.83			0.17		
池袋			0.20	1.60	0.80			0.20		
北区			0.50	7.50	0.75		0.25	0.75		
荒川区		0.50	1.00	5.00	4.50			1.00		
板橋区			0.17	3.83	1.17	0.17		0.17		
練馬区			0.60	3.80	2.80		0.40	0.60		
足立		1.60	0.80	4.60	0.20	0.20		0.40		
葛飾区			3.00	3.67	2.67	0.33		1.00		
江戸川	0.20	0.60	8.00	3.60	0.40		0.40	0.20		
八王子市	0.25	0.25	9.00	11.00	3.25		0.75	0.50		
西多摩										
南多摩	1.00		1.75	5.75	1.50			1.00		
町田			10.25	16.25	2.50		1.75	0.75	0.25	0.25
多摩立川			0.17	3.17	0.33		0.17			
多摩府中			0.30	2.10	0.50	0.10		0.80		
多摩小平		0.33	2.50	12.00	0.67			1.17		
島しょ				2.00	2.00					

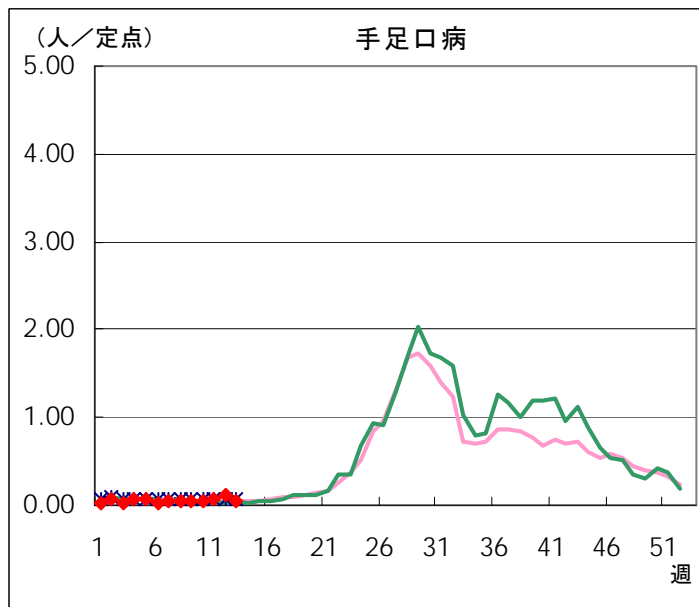
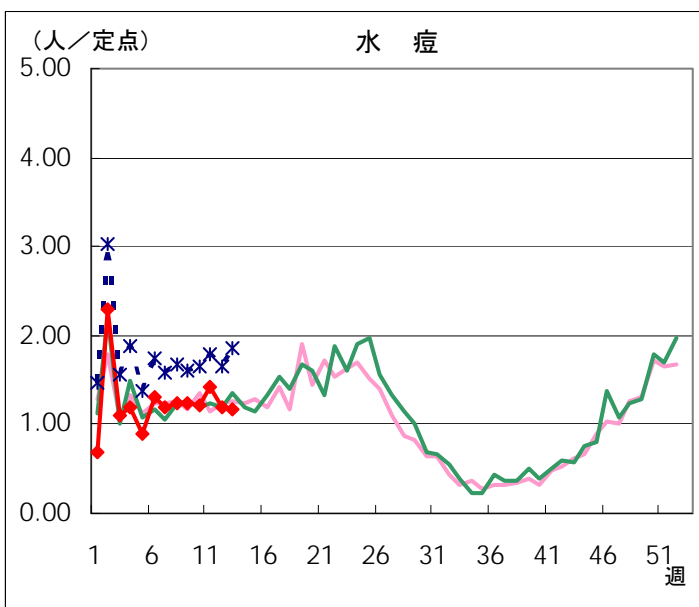
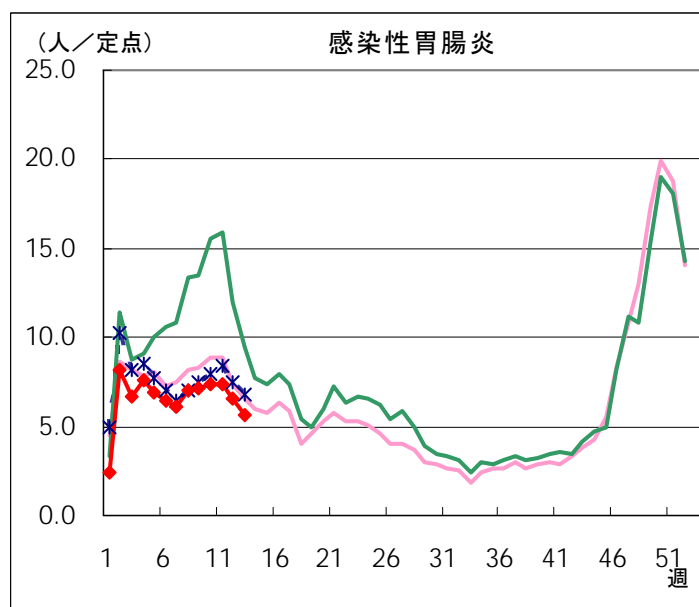
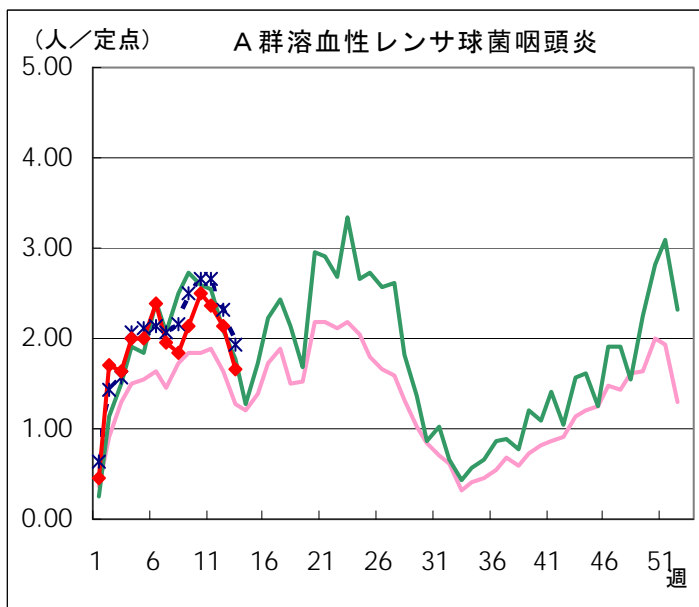
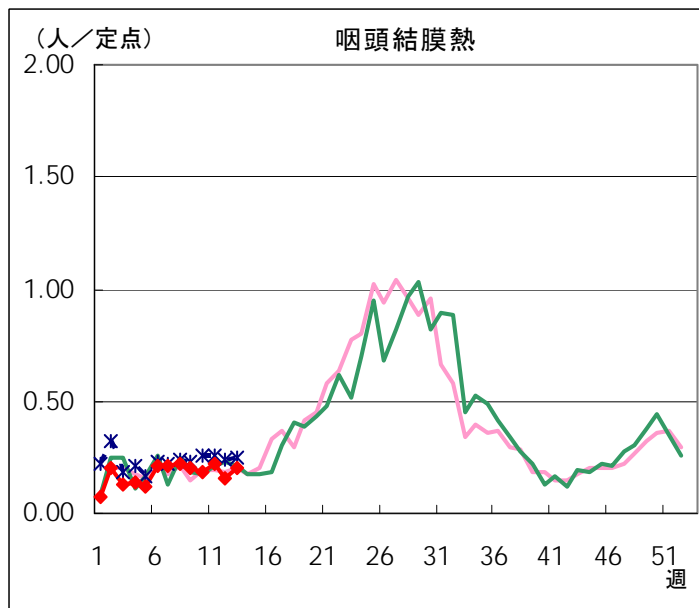
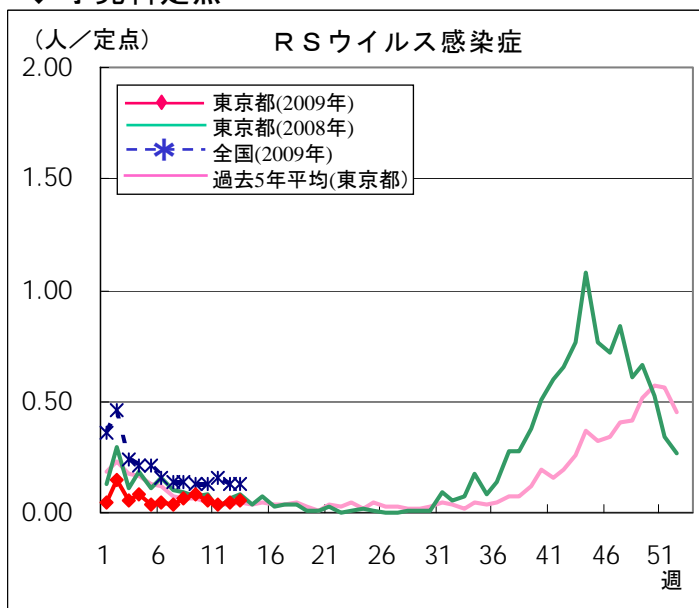
東京都	0.05	0.20	1.67	5.59	1.18	0.05	0.23	0.39	0.03	0.02
-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

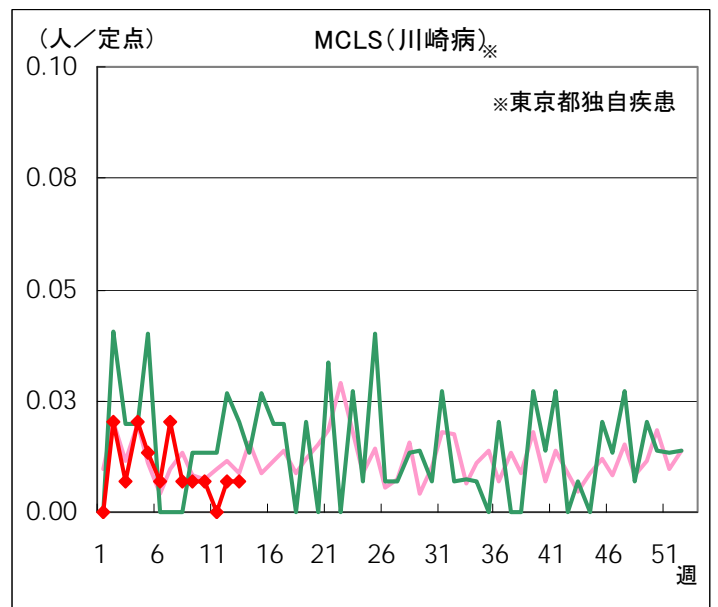
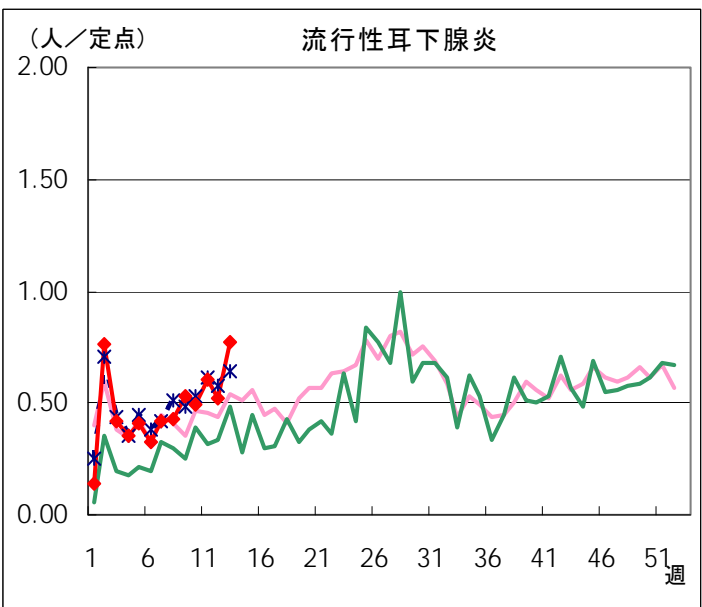
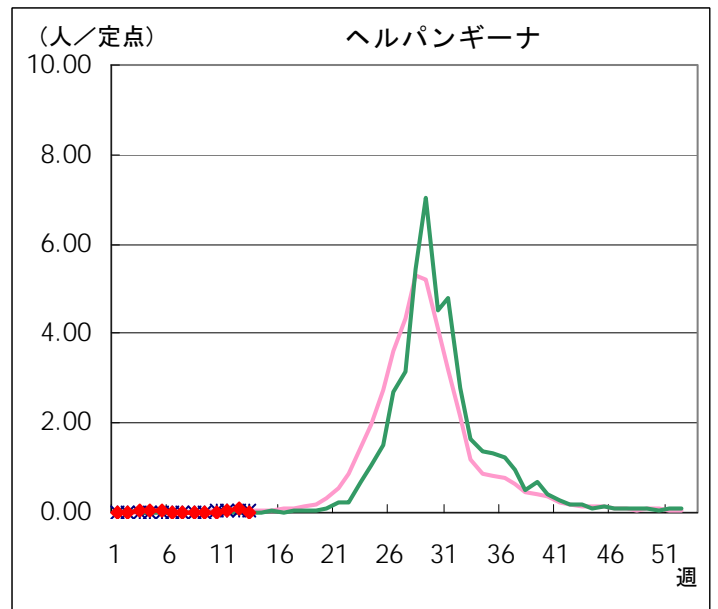
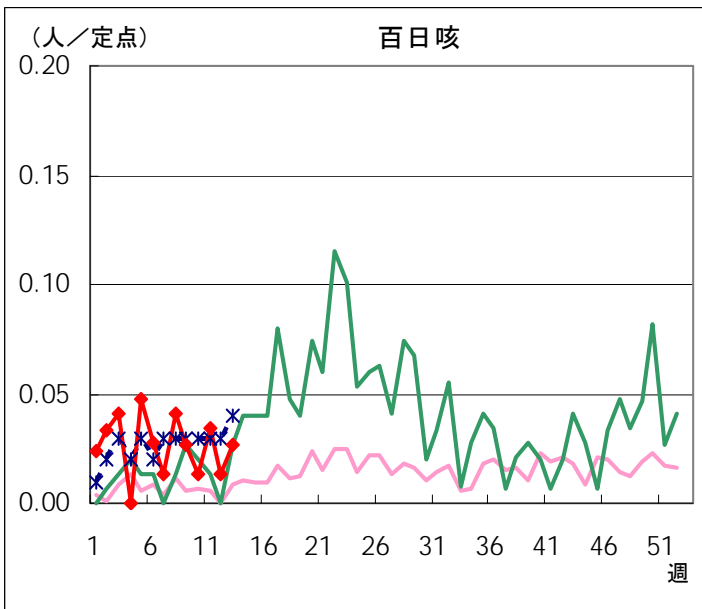
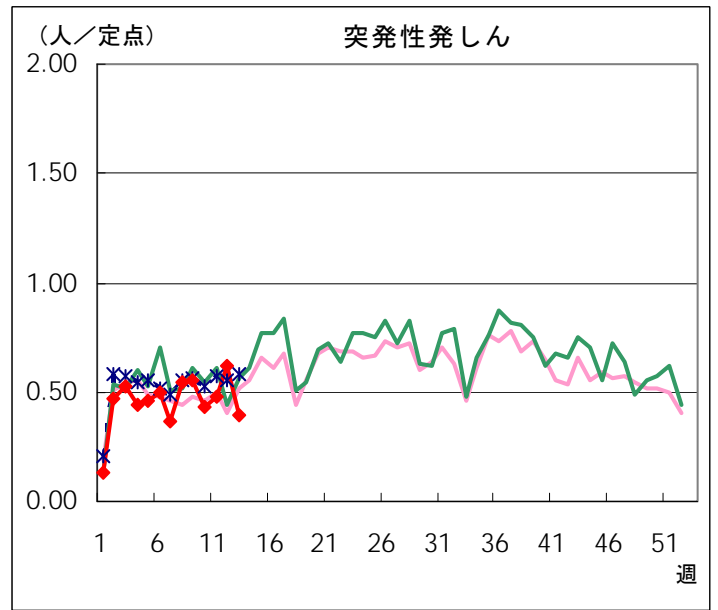
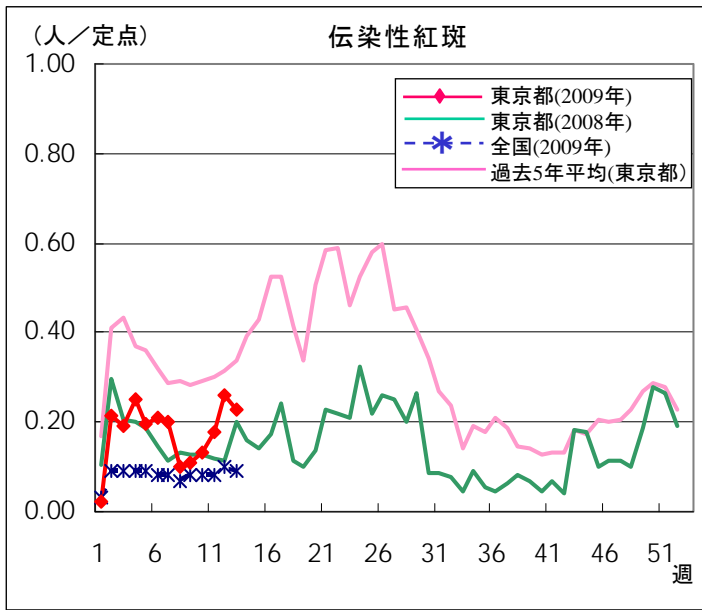
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田	0.25			2.80		
中央区				3.75		1.00
みなと	0.17	0.17		4.13		
新宿区	1.00			8.11		0.50
文京	0.33			11.00		1.00
台東	0.67			3.80		
墨田区	2.00			3.50		
江東区	1.25			7.11		2.00
品川区	0.17			8.30		
目黒区				3.67		
大田区	0.63			8.93		0.50
世田谷	0.25	0.13		9.87		
渋谷区	1.50			4.50		
中野区	0.50	0.33		8.44		1.00
杉並	0.67			8.17		
池袋				9.71		
北区				8.88		
荒川区		0.50		8.00		2.00
板橋区	0.33			4.92		
練馬区	0.60	0.20		14.42		
足立	0.40			7.83		1.50
葛飾区	0.67	0.33		8.25		
江戸川	2.00			6.67		
八王子市	5.25	0.50		23.90	0.50	1.50
西多摩				9.44		
南多摩	0.75		0.25	18.22		
町田	2.50	0.50		10.89		
多摩立川				5.62		
多摩府中	0.50			8.86		
多摩小平	1.00			8.64		1.50
島しょ				2.50		

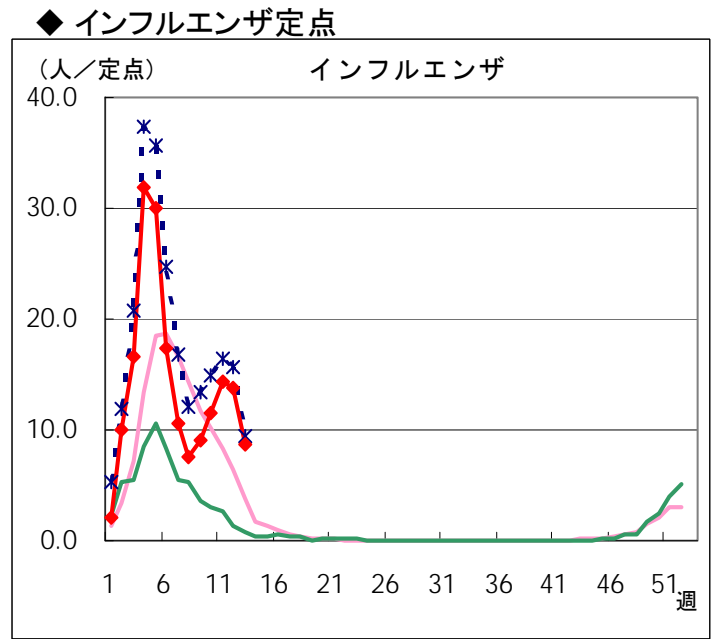
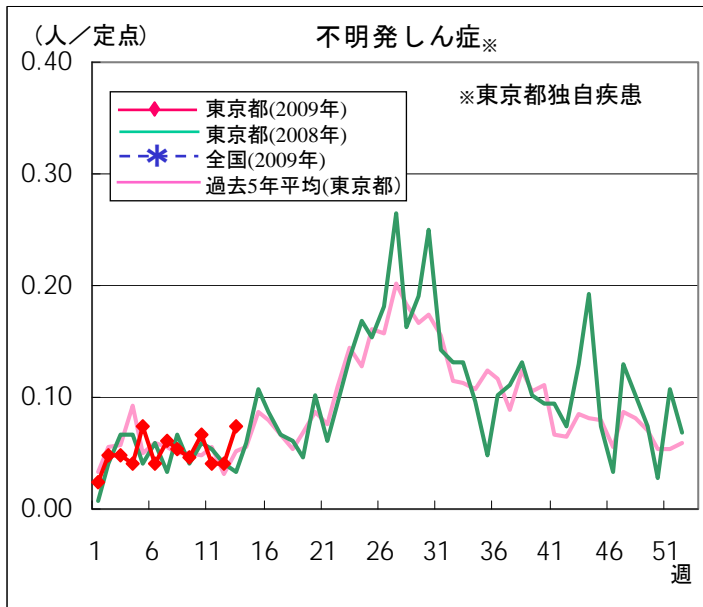
東京都	0.77	0.07	0.01	8.73	0.03	0.47
-----	------	------	------	------	------	------

定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2009年13週現在

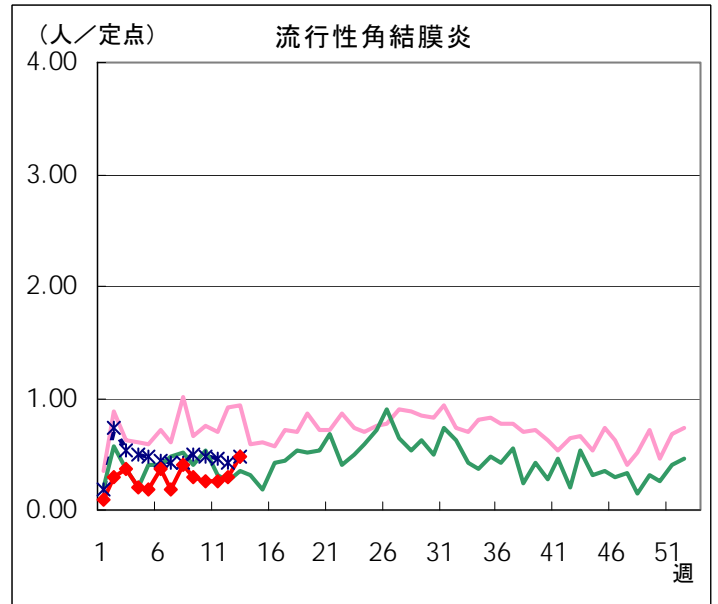
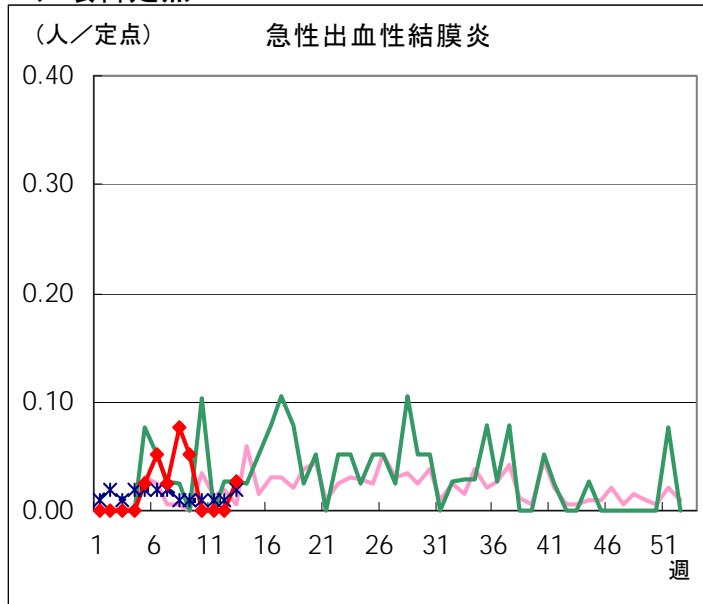
◆ 小児科定点



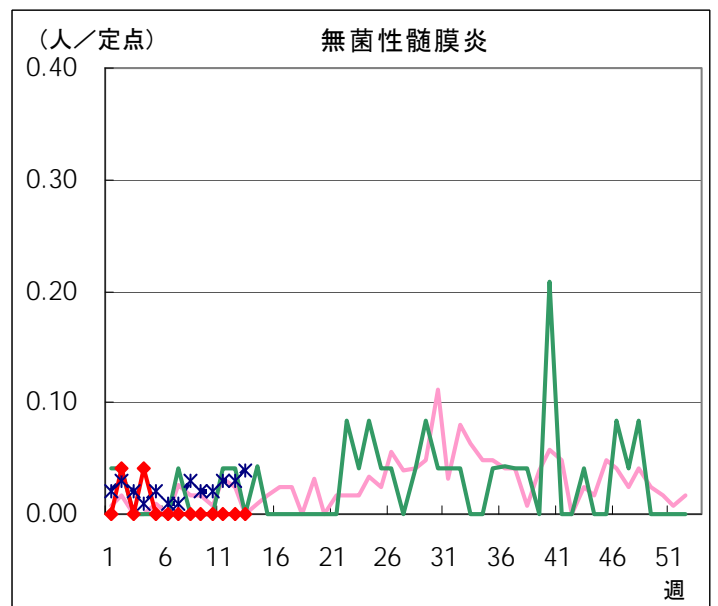
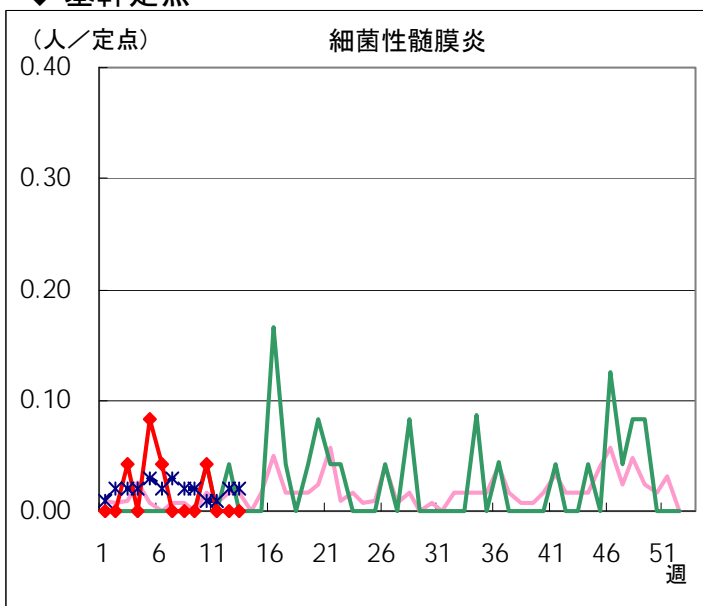


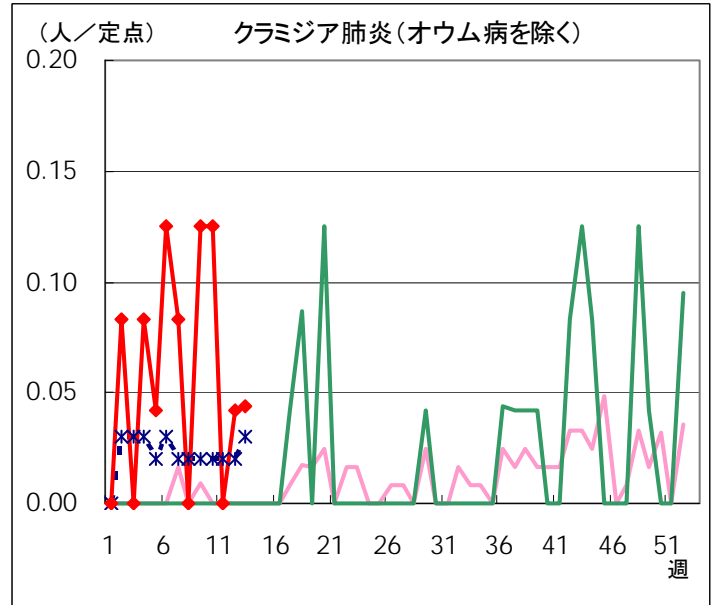
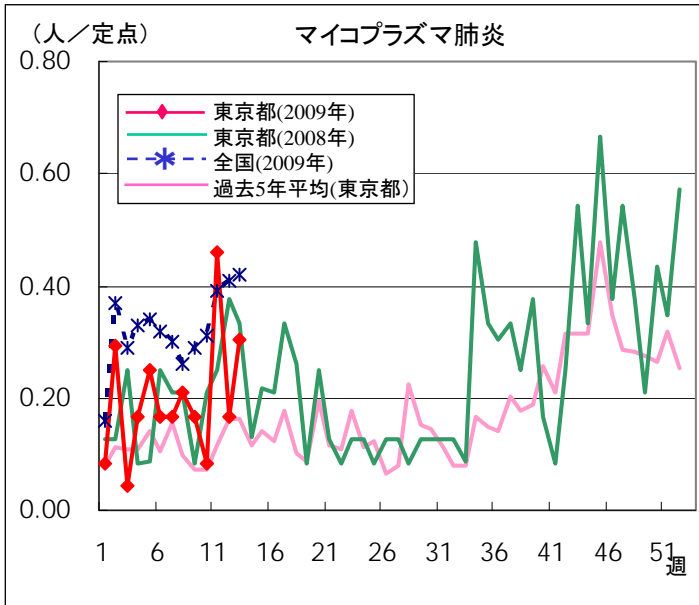


◆ 眼科定点

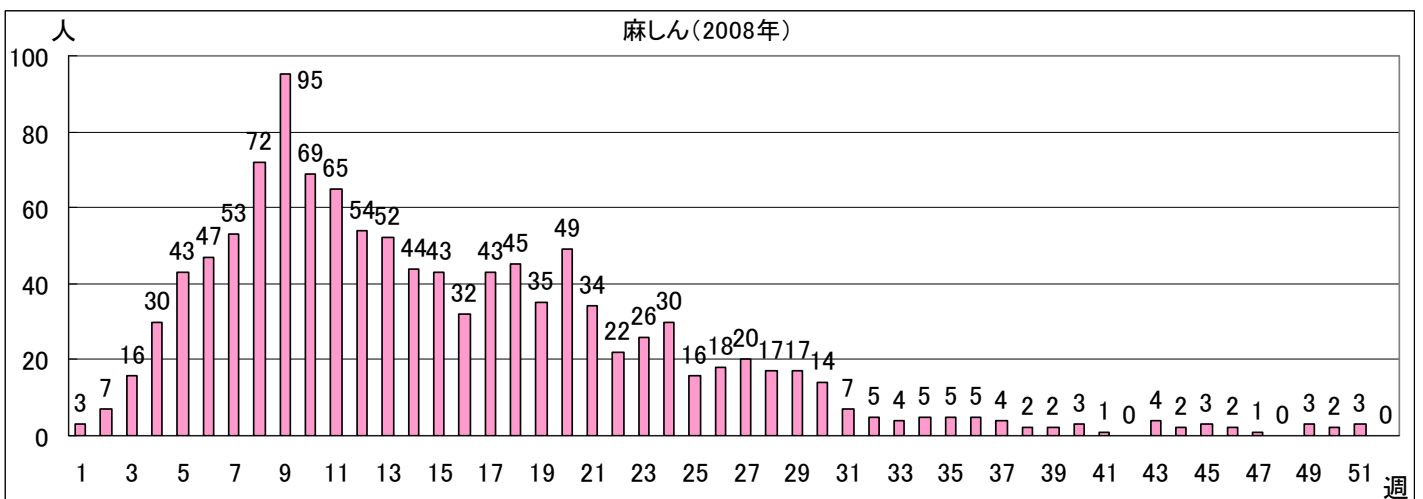
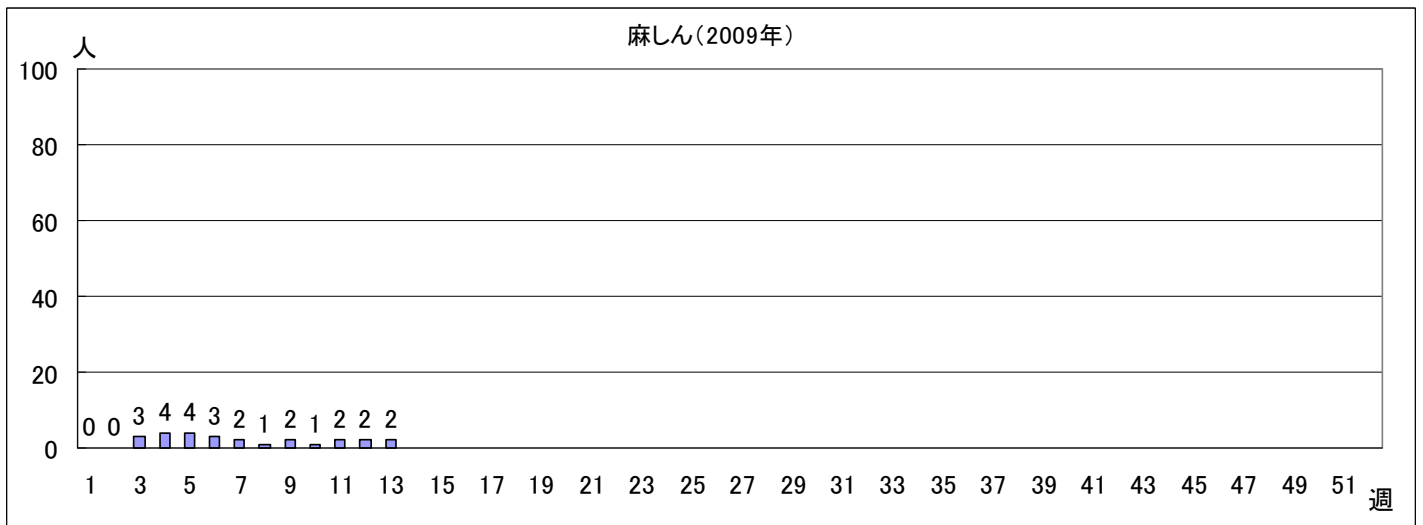


◆ 基幹定点





全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2009年13週現在



定点医療機関からのインフルエンザに関するコメント

各定点医療機関から、迅速診断キットを用いた検査の結果等に関わるコメントをいただきましたので、コメントのあった医療機関ごとに下表にまとめました。

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関からのコメント
	A	B	
みなと		2	B型 2名(11歳児、9歳児)、不明1名。
	3	11	
新宿区		1	
		8	
	1	10	
文京区		2	
江東		10	
	2	11	
	2	2	
品川区	2	8	
		16	
		1	
目黒区	2	3	
		5	
		7	
		4	
大田区	2	10	
	0	5	
	1	4	
	1	3	
		8	
	9		
世田谷区		3	患者24名
		3	
	1	3	患者10名
		1	
	1		患者5名
2		患者39名	
渋谷区		2	
中野区	1	11	
		4	
	1	28	
		6	
		2	
		4	
	3	3	
	1	3	
		9	

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関からのコメント
	A	B	
杉並	2	10	
	2		患者35名
		3	
池袋	4	20	
		6	
北区	3	23	
		10	
	3	19	
			患者12名、水曜日より急速に患者が減少しています。 終息に向かっていきます。
西多摩		2	
		39	
	1	3	
		3	
南多摩	1	31	不明6名
		3	
		1	
		8	インフルエンザ予防接種済者2名。
		14	
	1	82	A型:1歳1名、他全てB型。
町田	1	10	
多摩立川		5	
	1		A型:48歳
	1	5	A型:48歳 B型:1歳・7歳・9歳・16歳・31歳
多摩府中	1	1	7歳児はA型、42歳はB型。
多摩小平		3	
	2	10	
		19	
	3	40	
		6	
		2	
八王子市		2	
		43	
		24	
		1	
		1	
	1	4	
		20	
		36	
	87		

病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

*原則として検体採取日の順に掲載しています。

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
3/10	胃腸炎	4	糞便	ロタウイルス	抗原
3/12	流行性耳下腺炎、髄膜炎	記載無し	髄液	ムンプスウイルス	遺伝子
3/12	流行性耳下腺炎	7	咽頭拭い液	ムンプスウイルス EBウイルス	
3/13	胃腸炎	7	糞便	ロタウイルス ノロウイルス	抗原 遺伝子
3/16	手足口病	5	咽頭拭い液	エンテロウイルス	遺伝子
3/16	RSウイルス感染症	1	咽頭拭い液	RSウイルス	
3/16	溶連菌感染症	4	咽頭拭い液	<i>S.pyogenes</i> (T-4型)	分離同定

◇定点医療機関から搬入された検体の遺伝子検査法による亜型

亜型検出件数	インフルエンザウイルス		
	AH1型	AH3型	B型
12週	0	0	0
今シーズン累計	216	99	63

オセルタミビル(タミフル)耐性ウイルス株の検出状況

4/1現在

調査方法	A/H1N1分離株	耐性株
感染症発生動向調査	33	33
学級閉鎖等	20	20

詳しくは<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/flu/>を参照下さい。

病原体検査情報 【検出病原体別・週別】

検出病原体		2009年							
		5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週
ウイルス	アデノウイルス	12	3	4	11	4	7	5	
	ライノウイルス	6	4	2	2	1	6	8	
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群								
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71		1						
	その他のエンテロウイルス	4			2	1	5		1
	単純ヘルペスウイルス	3		1	1	3			
	水痘・帯状疱疹ウイルス								
	ヘルペスウイルス6/7	4	7	2	2	5	4	2	
	EBウイルス	1			2	2		2	1
	サイトメガロウイルス		3		1	1	1	1	
	ムンプスウイルス	2	2		1	2	2	5	2
	麻疹ウイルス								
	風疹ウイルス								
	パルボウイルスB19								
	RSウイルス	1	1	1	1				1
	ノロウイルス	3	1	1	5				1
	ロタウイルス		2				1	3	2
	インフルエンザウイルスAH1	20	59	28	12	5	3	5	
インフルエンザウイルスAH3	9	22	9	7		4	1		
インフルエンザウイルスB	2	5	4	5	6	13	21		
デングウイルス(抗体を含む)						1			
その他のウイルス				1	1	1			
細菌	カンピロバクター				1				
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌	1							
	溶血性レンサ球菌	1	1				3	6	1
	その他の細菌	2	1	1			3		
その他の病原体		1							

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2009年5週～2009年12週

臨床診断名 検出病原体	インフル エンザ	上 気 道 炎	下 気 道 炎	感 染 性 胃 腸 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 連 菌 咽 頭 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	ヘ ル パ ン ギ ー ナ	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	不 明 発 し ん 症	流 行 性 耳 下 腺 炎	水 痘	麻 し ん	風 し ん	そ の 他	
搬入検体数	259	36	25	60	31	12	11	3	1	5		24	16	1			105	
ウ イ ル ス	アデノウイルス	13	8	5	3		3	1		2		2	1				8	
	ライノウイルス	2	7	5	1		3				1	2	1				7	
	ポリオウイルス																	
	コクサッキーウイルスA群																	
	コクサッキーウイルスB群																	
	エコーウイルス																	
	エンテロウイルス71																	
	その他のエンテロウイルス			2	3				1	4								3
	単純ヘルペスウイルス	1										3						4
	水痘・帯状疱疹しんウイルス																	
	ヘルペスウイルス6/7		1		1					3		12						9
	EBウイルス												4					4
	サイトメガロウイルス			1	1								4					1
	ムンプスウイルス					1								12				3
	麻しんウイルス																	
	風しんウイルス																	
	パルボウイルスB19																	
	RSウイルス		2	3														
	ノロウイルス				10													1
	ロタウイルス			3	5													
インフルエンザウイルスAH1	132																	
インフルエンザウイルスAH3	51		1															
インフルエンザウイルスB	56																	
デングウイルス(抗体を含む)																	1	
その他のウイルス		1		2														
細 菌	カンピロバクター				1													
	サルモネラ																	
	腸管出血性大腸菌																	
	その他の腸管系病原菌																1	
	溶血性レンサ球菌							11										
その他の細菌	1	4		1													1	
その他の病原体																	1	

感染症豆知識

麻しん

WHO 西太平洋地域では平成 24 年を麻しん排除の目標年としている。

わが国では、18 年度に第 1 期を 1 歳児、第 2 期を小学校就学前 1 年間として麻しん風しん混合ワクチンによる 2 回接種を開始した。しかし、19 年に 10 代～20 代を中心とする流行が起こったため、予防接種法に基づく定期接種に第 3 期（中学 1 年相当年齢の者）と第 4 期（高校 3 年相当年齢の者）の 2 回目接種を 20～24 年度の 5 年間の経過措置として追加した。また、20 年 1 月から感染症法に基づく麻しん患者の全数届出を開始した。

麻しん患者は 20 年第 5 週に大きく増加し、第 7 週と第 17 週をピークに減少した。20 年の年間麻しん届出患者数は約一万一千人で、神奈川、北海道、東京、千葉が千人を超えていた。検査診断例（修飾麻しんを含む）は 38%と少なかった。年齢は 0～1 歳と 15～16 歳に 2 つのピークがあり、ワクチン未接種が 45%、1 回接種 27%、2 回接種 1%、不明 28%で、0 歳児はほとんど未接種者であった。9 人の麻しん脳炎が報告された。

20 年度 4～12 月末までの麻しんを含むワクチンの全国接種率は第 2 期 66%、第 3 期 66%、第 4 期 58%に留まっている。都道府県別で最も低かったのは第 2 期：宮崎 58%、第 3 期：大阪 55%、第 4 期：東京 41%であった。人口移動の多い大都市で未接種者を把握し、接種率を上げることが大きな課題である。

麻しん排除達成のためには、麻しん患者との接触が明らかでない第一例について確実に検査診断を実施して感染拡大を防止する必要がある。

（文責・国立感染症研究所感染症情報センター 山下和予）